

応じてオープンにできる負けない自分になり、感謝しております。

平成23年10月乳房再建の4回目の入院、手術を受けました。そして術後3週間目の11月9日より、台湾の台北で開催されました「RR I 乳がん患者国際会議」にぎんなんの皆さんと参加することが出来ました。

大会1日目は歓迎レセプションが開かれました。

2日目は大会開始にあたり35カ国が紹介され、ジャパーンと言われた時、辻代表と思いきり手を振りました。

会場からは万雷の拍手で、鳴りやまず、「すごい拍手でしたね」と代表に尋ねましたら、「今年は東日本大震災があったから、よく来たネ！頑張れ～のエール！なんじゃないかな」。

あの時の感動が今又蘇って来ます。



3日目は観光と、夕方からガラ・ディナーが開かれ、700名が参加しました。お国自慢は各国の民族衣装で、勿論ジャパーンは着物でした。明るく楽しく、握手、抱擁の盛大なる大交流は、まるで35カ国に行ったかのような感動と充実感を私に与えてくれました。そして私の人生の歴史の1ページとなりました。



家族の支え、医師、看護師、ぎんなんの会の皆様、沢山の方々に支えられ、当年72歳の私はとても幸せです。

今日も元気でこれからの命を自分らしく輝かせて参ります。

平成25年9月 吉日

追伸：2013年7月より、乳がんの全摘術後の乳房再建に使う人工乳房への保険適用が承認されました。（インプラントを用いる乳房再建術）

刈谷久美子

